

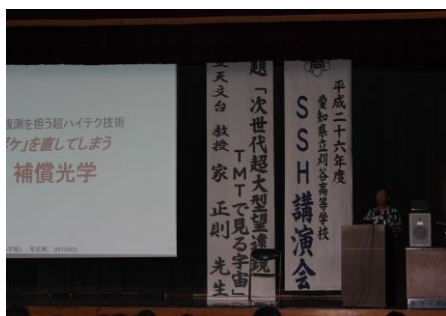
SSH講演会

1 目的

宇宙研究についての講演を聴くことによって、先端科学技術の応用への理解を深めるとともに、大学などの研究機関の活動に触れることによって、進路意識や学習意欲の向上を図る。

2 実施要項

- (1) 実施日時 平成26年9月29日(月) 15:00~16:20
- (2) 実施場所 愛知県立刈谷高等学校 体育館
- (3) 参加者 全校生徒1,120名、教職員60名、保護者19名、来賓(学校評議員、刈谷市内中学校教員、県立高校教員)12名 計1,211名
- (4) 講師 家正則氏(国立天文台 教授)
- (5) 演題 「次世代超大型望遠鏡TMTで見る宇宙」



講演会の様子



家先生を囲んでの質問会

(6) 講演内容

先生からは2021年の稼働を目指すThirty Meter Telescope(30メートル望遠鏡)の構造についての説明、制作を進める上で苦労されている体験談や性能を高めるための工夫、完成することで広がる様々な可能性について、丁寧にまた、ときには笑いを交えながらお話しをしていただきました。

講演終了後には、生徒による質問会を行い、「天文学者は欲張りと言われましたが、どこまで欲張りですか」「ダークエネルギーとは何ですか」「宇宙人はいますか」等多くの生徒が質問をし、家先生からわかりやすく解説していただきました。

○ 生徒の感想(抜粋)

- ・天文学という分野には多くの人の力や知識が必要であり、それによって新しい発見ができることがわかり、有意義であった。しかし、宇宙にはダークエネルギー等の謎も多くあり、それを解明していくことに興味を覚えた。
- ・自分の目標に向かって一途に努力し、悩むことが人類の未来に貢献することにつながることがわかり、自分も大きな研究がしてみたいと思う。

○ 保護者、来賓(学校評議員、刈谷市内中学校教員、県立高校教員)の感想(抜粋)

- ・大変興味深い講演内容であり、「天文学は宇宙の考古学」という言葉が印象的でした。実際にその研究に携わった方から最先端の日本の科学技術に触れることができ、生徒にとって良い刺激になったと思う。